

第1、2回校長講話

せんざいいちぐう

学校教育目標
自ら考え、個性を研ぎ
創造性豊かに
力強く生きる生徒

通常、毎週火曜日は授業が9校時で終了です。放課後の時間に各種集会や教師の研修会、会議等の時間に当てられています。そして、その時間に校長講話を年間数回ほど設定してもらっています。学校長はさまざま催し事や集会・式辞等で挨拶や激励・お礼等述べる場合がありますが、それらの機会とは別に、校長講話で生徒・教職員に話をする機会があります。本校学校教育目標の生徒像に迫ることが目標ですが、生徒の「夢実現」に向けて、未来につながって欲しいという思い・願いをこめて校長の授業を実施しています。保護者や地域の皆様に向けても学校教育が目指すところを共有していただけるように、ご家庭でも話題にさせていただけるよう、また、ご意見等をいただけるように一部校長講話の内容をご家庭と共有したいと思っております。

松城中学校
6月 5号

発行
校長 宮城裕子



#1校長講話



制作者の若宮正子さんの紹介をしました。入学式の式辞でもご紹介した方のお話です。若宮さんの「とりあえずやってみよう」の自分への応援メッセージ等をお話しました。学校は自分をつくる場所です。『焦らず、比べず、なりたい自分つくり』を目指して、自分自身への応援メッセージ何かありますか！
*「夢実現ノート」で日々の過ごし方を考えてみましょう！

5月30日(火)
第1回校長講話では「焦らず、比べず自分つくり」と題して、iPhoneで知られるアップルCEOティムクック氏に「どうしても会いたいと言わせた」

お知らせ

水道ポスターコンクール表彰

優良賞 2名

1年 水間 琉人
他1年女子

入選 1名

1年 女子
*県大会へ出品します。



#2校長講話



6月13日(火) 第2回校長講話では、十分程度のアクティビティ「両手でペンを移動させる」コミュニケーションの取り方」を実施しました。授業の中では、いくつかのテーマや課題について対話する他者との交流場面を設定したり、話し合う活動を行ったりします。今回は、「聞く・話す・読む・書く」コミュニケーション技能の「聞く・話す」を短時間で実践してみました。先生の支持に傾聴する、級友の説明をしっかり聴くことや伝えたいことが相手に上手く説明できたかなどを実践してもらいました。

生徒たちはいろいろなことをやってみて「できること」に喜びを感じます。一生懸命挑戦したりします。加えて、協働作業から多くの学びを得ることが出来ます。
ペン移動では一学年のチームが一番早く全員で出来るようになりまして、3年生が1年生に「教えを請う」場面もあり、とても微笑ましく感じました。日常の場面でも「聴く・伝える」を意識して、日々成長して欲しいと願っています。

↑できたら着席